

2015-3

全国拡大教材製作協議会

代表世話人 佐藤 邦隆

第49号

〒108-0073

港区三田 3-7-26-405

Tel・Fax 03-3453-3052

<http://www.kakudai.org/>

会報

— 多様性の容認と団体活動の収斂（コンバージェンス） —

全国拡大教材製作協議会 代表世話人 佐藤邦隆

児童・生徒たちも新学期への期待が大きく膨らむ時期を迎えました。

皆さんにおかれては、拡大教科書の納入期限を目前にしてご多忙のことと存じます。

そして、児童生徒が実際に新学期になり、少なくとも教科書については、いささかも不便を感じることはないようにと、一人ひとりの違う見え方にもしっかりと対応できるように細かいことにも配慮をいき渡らせながら、持ち前の集中力を発揮しておられることと思います。

また、3月はそれぞれのグループが作業と並行して次年度への活動構想を練り始める時期でもあり、今年度の活動を振り返り次の活動計画の検討に入ることと思います。

我々ボランティアによる拡大教材の活動は大きな環境の変化に遭遇してきました。それでも、この2年間の皆様の相互交流で、拡大写本ボランティアに与えられた次世代のテーマについては、とても前向きにコンセンサスが取れてきているように思えます。すなわち、次世代は「子どもが成長すると共に関わる書物はすべて教科書に準じる教材と考える」が主題になります。そのためには、弱視児童・生徒の“トータルな学習環境を整える”こと、一人ひとりの違った見え方に拡大教材がしっかり適合するように、“質面の満足度を追求する”こと、そして“すべての成長過程における読書環境を整える”ことです。

おかげで、協議会は変化の時期を正面から捉える機運が浸透して、これからは、いよいよ新しい実践の位相（段階）に進展します。「コンセンサス」を得て「コンバージェンス」へとということです。

ただ、新しい位相（段階）では、法的にも経済面でも厳しい環境にあります。これは至難な課題のようにも思われていますが、先輩達が約40年前から苦労して克服してきた道の再現であり、我々もまた原点に戻ってやり直すことに他ならないのです。

教科書の無償配布後にはまってしまっていた慣習を離れて、改めて法的、経済的、技術的な課題に挑戦し、利用者の立場に深く寄り添ってまいりたいと思います。特に弱視児童・生徒を支援して下さる周囲の方がたとの関係もさらに密接になる必要もあります。

勿論、協議会としてはこの方向性を共有しながらも、会員55のグループはそれぞれが皆個性にあふれた特徴を備えたグループです。個々の活動方針は皆違った特徴を持って当然です。ただ、それぞれが始発点や道筋が異なっても、それらを俯瞰したときには、共有している次世代のテーマの達成に向って、行く先は一つの頂点に向かっていくような活動になることを期待しています。

目標のコンバージェンスが実現する活動となるように皆様どうぞよろしくお願いいたします。

また、4月は多くのグループで組織人事の見直しが行われます。

協議会への変更登録の届けは、様式に従って必ず忘れずにお願いします。



拡大教科書製作の活動状況

愛知県岡崎市 拡大写本グループ あい
杉本 章

はじめに

当グループは、平成4年に活動開始から23年間続いており、現在の会員数は、48名です。
教科書製作担当者数は、パソコン担当24名・手書き担当24名

製作活動の特徴

- * 小学校の低学年は、文字の正しい形を覚えてもらうために、基本的に手書きです。
3年生からは、徐々にパソコンの拡大教科書を製作しています。
- * フォント(字体)は、ユーザーに見本を送付後、決定します。
フォント見本は、10種類あります。
36ポイント A版 5種類 A版→B版縮小 約32ポイント 5種類
- * 製本用紙は、書籍用紙を使用しています。(反射防止のため)
B5・A4 サイズ:両面印刷 (タテ目:紙厚 90kg)
B4・A3 サイズ:片面印刷 (ヨコ目:紙厚 62kg)

平成24年度～平成27年度 拡大教科書製作の活動内容

年度	学校	児童数 生徒数	延べ 教科 数	総 分冊数	製作方法					
					モトヤ 教	ゴシッ ク	丸ゴシッ ク	太丸ゴ	極太丸ゴ	手書き
平成 24年度	小学校	32	111	1291	8	2	6	24	10	61
	中学校	7	36	610	13	1	0	22	0	0
	合計	39	147	1901	21	3	6	46	10	61
平成 25年度	小学校	26	96	1136	9	5	1	18	7	56
	中学校	3	27	312	5	2	1	19	0	0
	合計	29	123	1448	14	7	2	37	7	56
平成 26年度	小学校	22	100	1264	9	5	8	12	5	61
	中学校	5	32	363	16	2	0	14	0	0
	合計	27	132	1627	25	7	8	26	5	61
平成 27年度	小学校	10	48	547	6	1	3	6	7	27
	中学校	4	19	390	13	2	4	2	0	0
	合計	14	67	937	19	3	7	8	7	27



パソコン
字体

モトヤ教……:モトヤ教科書体
 ゴシック……:MS ゴシック体
 丸ゴシック…:TBUD学参 丸ゴシック
 太丸ゴ……:TBUD学参 太丸ゴシック
 極太丸ゴ…:TBUD学参 極太丸ゴシック

パソコン字体使用例

教科	4年	5年	6年
算数	ゴシック	ゴシック	丸ゴシック
理科	丸ゴシック	太丸ゴシック	丸ゴシック

平成 27 年度 小学校総分冊数には、下巻の分冊数は含まれていません。(分冊数が未定のため)

おわりに

ユーザー数は、年々減少傾向にあります。(H24 39名;H25 29名; H26 27名;H27 14名)
 また、会員数も年々減少傾向と高齢化になっています。

以上

全国拡大教材世話人会より副教材等作製補助金のお知らせ Part. 2

前回の会報にて補助金の申請をご案内しました。現在、数グループより申請が出ています。教材として見てもらえるかどうかと不安に思っている事例でもまずは申請されるかお知らせください。26年度作成分も含めお願いします。

対象となる写本：無償の教科書以外で学校教材として使う教材全て

ただし著作権の許諾に関しては学校が引き受けてくれるもの

申請書類：ホームページよりダウンロードできます（記載はもれなくお願いします）

メールまたは郵送にてお送りください email : jklsato@beige.plala.or.jp

宛先：〒108-0073

港区三田3-7-26-405

佐藤邦隆 宛

平成27年度代表者会議のお知らせ

平成27年度は文書にて行います。5月にはお手元に資料と返信はがきを送りますのでよろしくお願いいたします。

なお、夏以降に懇親会など会員相互の意見交換ができる場を設ける検討をしています。決まり次第お知らせしますのでよろしくお願いいたします。



実績表提出にご協力ください

会報と同封で27年度の製作拡大写本についての実績調査記入のお願いをしています。お忙しいとは思いますがご協力ください。



変更届を提出ください

代表者や連絡担当者に変更のある場合は同封の届出用紙にて提出ください。毎年、この時期は連絡に支障が起きてしまいます。よろしくお願いいたします。

現在のグループ数 55グループ（平成27年 3月現在）
入会 秦野市拡大写本赤十字奉仕団

26年度世話人会日程

3月25日（水）

4月22日（水） 5月27日（水）

- ・原則として第4週水曜日 午後1時半から
（どなたでもお気軽にご参加ください）
- ・場所 東京都障害者福祉会館 東京都港区芝5-18-2
- ・交通 JR 田町駅 下車 徒歩3分
都営地下鉄三田線 浅草線 三田駅下車 すぐ

《編集後記》

桜が咲き始めました！春はなんとなくウキウキするものです。なのに花粉症とお友達にならねばならず残念な感じもしています。新しい教科書を送付し始めどんな顔で使ってくれるのか楽しみと心配が同居している複雑な思いも一緒でしょうか。皆様が花冷えなどで風邪など惹かれませんかのように。(H)